B-DASH予備調査公募　応募書類様式

**【消化工程なしで下水道資源（下水汚泥，下水処理水など）から水素を製造する技術の例】**

１．応募時は様式１～５を参考にし、以下の書式に従って記載してください。

２．用紙は、Ａ４判を利用し、左とじにしてください。

３．応募書類は、日本語で作成してください。指定した枚数を超えることや枠をはみだして作成することは認めません。また、文字の大きさについても読みやすい文字の大きさとしてください。

４．提出部数は、２部（正1部、写１部（固有名詞を削除したもの））、電子ファイル(PDF版（固有名詞削除版も）) を提出願います。

５．別紙１「応募書類受理票」は、下線部分について記載してください。また、正のみ代表者の氏名の横に、押印をお願いします。提出部数等に漏れがないことを確認の上、提出してください。

様式－１

応募書類受理票

応募書類受理番号

調査事業名:

平成　　年　　月　　日

法人名：

法人代表者名：

所在地：〒○○　○○県○○市…

※複数者の場合は、並列して記載すること。

研究代表者： 所属

　　　　　　 役職名

　　　　　　 氏名　　 　　　　　　　　　　　印

　　　　　　 住所

　　　　　　 TEL

　　　　　　 FAX

　　　　　　 E-Mail

応募書類チェックリスト

　　□応募書類　１式

　　　　（応募様式、実施計画の見込み、平成28年度必要経費概算、研究者・代表者データ）

　　□提案技術の説明資料・パンフレット

　　□過去の類似研究の説明資料

-------------------切取線--------------------------割印------------------------

応募書類受理番号

技術研究開発テーマ名:

応募書類受理票

法人名

平成　　年　　月　　日

代表者名　　　　　　　　　　　　殿

貴殿から提出された標記応募書類は、受理しました。

　〒100-8918　東京都千代田区霞が関２－１－３

国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道企画課　中島　　　印

様式－２

提案書[要約版]

|  |
| --- |
| **B-DASH予備調査公募　応募様式** |
| ①技術研究開発課題 | 【例】消化工程なしで下水道資源（下水汚泥，下水処理水など）から水素を製造する技術 |
| ②技術研究開発テーマ名 | 【例】○○○○○○ |
| ③技術研究開発の概要 | 技術革新性、導入可能性、実現可能性の視点にも着目して記載して下さい。※２枚以内とします。（背景・課題）（目的）（技術研究開発内容・成果） |
| ④研究代表者 | 氏名 |  | 年齢 | 職名 |  |
|  | 専門分野 |  |
| 所属機関（連絡先） |  |
| ⑤技術研究開発の目標と計画 | 目標（コスト目標と技術性能目標）とする成果の内容を具体的に記載してくさだい。また、その目標を達成するために、どのような研究を行うのか、具体的に記載してください。※１枚以内とします。 |
| ⑥技術研究開発実施体制 | 適正な人員配置による実施体制であることを図示などによりわかりやすく記載してください。 |
| ⑦共同研究者 | 氏名 | 年齢 | 所属・役職 | 研究分担内容 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

様式－３

|  |
| --- |
| **配置予定者の経験及び能力（その１）** |
| ①応募名称 | 自由に命名してください（以後、これが提案事業の固有名詞として扱われます。事業の内容を簡潔に表す名称とし、自治体名等の固有名詞は入れないで下さい。）【記入例】○○の実用化に関する技術調査事業 |
| ②代表者および担当者 | ＜代表者および担当者リスト＞・配置予定者名・所属役職・担当する分担業務の内容 など【記入例】事業実施体制

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | ふりがな配置予定者名 | 所属・役職 | 担当する分担業務内容 |
| 代表者 | こくど　たろう国土　太郎 | ○○○(株)△△事業部長 | 総括 |
| 担当者 | こくど　じろう1) 国土　次郎 | ○○○(株)◇◇開発課長 | ・・・ |
| 2)・・・ | ・・・ | ・・・ |
| 3)・・・ | ・・・ | ・・・ |

注１：氏名にはふりがなをふること。注２：所属・役職については、会社名等も記載すること。注３：代表者は、所属する機関等に常勤で所属している方とします。　（「所属」とは、非常勤・常勤問わず職員として従事している場合とし、招聘者の場合は、外国からの長期間の招聘の場合のみ「所属」とし、事業に参画できるものとします。） |

様式－３

|  |
| --- |
| **配置予定者の経験及び能力（その２）** |
| ②代表者および担当者 | ＜代表者の詳細＞・配置予定者名・生年月日・所属役職・過去の類似業務実績・手持ち業務　　など【記入例】（代表者：国土　太郎の経歴）

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名　国土　太郎 | ②生年月日　Ｓ○○．○．○○ |
| 所属・役職　○○○㈱　△△事業部長 |
| 過去の類似業務実績（契約金額５００万円以上のものに限る） |
| 業務名 | 業務概要 | 契約金額 | 発注機関 | 履行期間 |
| ○○に関する検討業務 |  |  |  | 平成　年　月　日～平成　年　月　日 |
| □□に関する共同研究 |  |  |  | 平成　年　月　日～平成　年　月　日 |
|  |  |  |  |  |
| 手持業務の状況（平成28年○月○○日現在） |
| 業務名 | 発注機関 | 履行期間 | 契約金額 |
| △△市▽▽浄化センター・・・工事 | △△市下水道局 | 平成２７年○月○○日 | ○○,○○○円 |
| □□に関する共同研究 | 共同研究者◇◇市 | 平成２７年○月○○日 | ○○,○○○円 |
|  |  | 　　　計 | ○○,○○○円 |

注１：代表者は、当該事業に関する応募書類の提案代表者となるほか、国土交通省及び国土技術政策総合研究所との連絡・対応にあたり総括的な責任を有し、事業採択後は、参画者の役割分担を含む詳細な事業計画の作成および見直しに係る調整など、技術調査の円滑な実施と確実な目標達成のために進行管理を行うこととします。 |

様式－３

|  |
| --- |
| **配置予定者の経験及び能力（その３）** |
| ②代表者および担当者 | ＜担当者＞　※複数の場合は全員について記載してください。・配置予定者名・生年月日・所属役職・過去の類似業務実績・手持業務の状況　　など【記入例】（担当者：国土　次郎の経歴）

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名　国土　次郎 | ②生年月日　Ｓ○○.○.○○ |
| 所属・役職　○○○(株)◇◇開発課長 |
| 過去の類似業務実績（契約金額５００万円以上のものに限る） |
| 業務名 | 業務概要 | 契約金額 | 発注機関 | 履行期間 |
| ○○に関する検討業務 |  |  |  | 平成　年　月　日～平成　年　月　日 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 手持業務の状況（平成２8年○月○○日現在） |
| 業務名 | 発注機関 | 履行期間 | 契約金額 |
| □□に関する共同研究 | 共同研究者◇◇市 | 平成２７年○月○○日 | ○○○,○○○円 |
| ○○市○○ポンプ場の設計 | △△県○○市 | 平成２７年○月○○日 | ○○○,○○○円 |
|  |  | 計 | ○○○,○○○円 |

 |

様式－３

|  |
| --- |
| **実施方針・実施フロー・工程表等（その１）** |
| ③実施手順 | ＜実施フロー＞○○○○の調整打合せ○○○○の試運転調整○○○○の同時運転○○○○の試運転調整○○○の準備・設計○○○○の製作・設置○○○○のデータ取得および分析○○○○の製作・設置○○○○の試運転調整○○○○の製作・設置○○○○の引渡し○○○○の開始(※おおよその従事期間(○○日間)を記述)(※)(※）(※）(※）(※）(※）(※）(※）(※）(※）(※） |
|  |

様式－３

|  |
| --- |
| **実施方針・実施フロー・工程表等（その２）** |
| ③実施手順 | ＜工程計画例＞注1）別紙（様式問わず）にて調査する項目とその調査スケジュールを明示してください。注2）技術調査の一部を再委託などにより実施（外注）する場合は、各調査項目においてその範囲が明確に分かるよう区分してください。（④調査事業の実施体制と整合させてください。） |
|  |

様式－３

|  |
| --- |
| **実施方針・実施フロー・工程表等（その3）** |
| ④調査事業の実施体制 | 下図の例に従って、実施体制を示してください。なお、各機関の代表者は、当該技術の直接の責任者としてください。（例えば、\*\*\*事業部長、+++開発担当部長など）* 他の業者等に当該業務の一部を再委託する場合、または学識経験者等の協力を受けて業務を実施する場合のうち、当方の承諾を要するもののみ記載してください。ただし、「業務の主たる部分」は再委託しないでください。（再委託の詳細については国土技術政策総合研究所委託研究契約書（例）を参照してください。）

【記入例】（１）事業体制応募名称金額（概ねの割合）金額（概ねの割合）金額（概ねの割合）再委託先または協力先の詳細については（３）に記述（２）連絡体制

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 機関名 | ○○○㈱ | ㈱◇◇◇ | ◎◎◎㈱ | △△△㈱ |
| 氏名 | 国土　太郎 | ○○○○ | ○○○○ | ○○○○ |
| 所属 | 事業部長 | 専務取締役 | 開発部長 | 事業部長 |
| TEL | ・・・ | ・・・ | ・・・ | ・・・ |
| FAX | ・・・ | ・・・ | ・・・ | ・・・ |
| E-mail | ・・・ | ・・・ | ・・・ | ・・・ |

（３）再委託の有無及び内容

|  |  |
| --- | --- |
| 再委託の具体内容及び必要とする理由 | 提案内容に占める概ね割合(金額ベース) |
| ○○○○○（○○のため） | 5％ |
| ○○○○○（○○のため） | 5％ |

 |
|  |

様式－３

|  |
| --- |
| **提案内容（その１）** |
| ⑤提案技術の革新性 | 本事業で提案する革新的技術の全体像を分かりやすく説明してください。特に、既存の技術に対する新規性・独創性について既存技術との比較やイラストを用いて具体的に記述して下さい。（図表・挿絵等を含めて３ページ程度とします。）（別添資料５「評価項目及び配点」の評価項目に記載のある、技術革新性について留意して記述してください。）【記入例】（イメージ）＜下水道事業の課題及び目標＞資源・エネルギー需給の逼迫が懸念され、循環型社会への転換が求められており、従来の下水を排除・処理する一過性のシステムから、集めた物質等を資源・エネルギーとして活用・再生する循環型システムへと転換することが求められている。＜提案技術の新規性・独創性＞下水から消化工程なしで水素を製造する技術により下水のエネルギー化率が上昇し，また消化工程が不要の為，適用できる範囲が従来技術よりも幅広い。革新的技術の全体像のイメージ |

様式－３

|  |
| --- |
| **提案内容（その２）** |
| ⑥提案技術の実現可能性 | 提案する革新的技術について，目標の達成（コスト目標と技術性能目標）とする成果の内容や、その目標を達成するための研究内容、実用化の実現可能性を３ページ以内で具体的かつ詳細に記述してください。（別添資料５「評価項目及び配点」に留意して記述してください。） |
|  |

様式－３

|  |
| --- |
| **提案内容（その３）** |
| ⑦提案技術の導入可能性 | 　提案する革新的技術について，下水道行政への応用性，および調査事業を通じて広く普及展開させることで期待される国民生活や経済活動に対する効果・意義について３ページ程度に具体的に記述してください。（別添資料５「評価項目及び配点」の評価項目に記載のある、導入可能性について留意して記述してください。） |

様式－４

平成28年度の必要経費概算

　※　研究に必要な経費の概算額を、（参考資料）委託研究処理科目別区分表（次ページ）に定める科目区分に従って、記載してください。

　※　平成28年度の必要経費のみについて作成してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　　　目 |  金額（円） | 積　算　内　訳（概略） |
| 人件費 | ○○,○○○ |  |
| 諸謝金 | ○○○ |  |
| 旅費交通費 | ○○○ |  |
| 庁　　　費（下記費目別に記載）1. **備品費**
2. 消耗品費
3. 借料及損料
4. 印刷製本費
5. 通信運搬費
6. 光熱水料
7. 賃金
8. 会議費
9. 外注費
 | **0**○,○○○○○○○○○○○○○○○○,○○○○○○○○,○○○ | **※ 備品費は本検討調査では計上不可です。****※ パイロットプラント等のリースに係る経費は、「借料及び損料」に計上してください。** |
| 間　接　費　　　諸　経　費 | ○○○,○○○ |  |
| 小　　　　計 | ○○○,○○○ |  |
| 消費税相当額 | ○,○○○ |  |
| 合　　　　計 | ○,○○○,○○○ |  |

様　式－４

（参考資料）

　委託研究処理科目区分表

|  |  |
| --- | --- |
| 科目区分 | 内　訳 |
| 直接費 | 委託研究に直接必要な人件費、諸謝金、旅費交通費、庁費です。 |
| 　　 | 人件費 | 委託研究に直接従事する研究担当者（大学等の職員※・招聘研究者、公益法人の職員又は民間会社の社員）の給与及び法定福利費です。※交付金等により国から給与が支給されている国立大学法人等の職員を除きます。 |
| 諸謝金 | 委託研究に直接協力する者に対する報酬及び謝金で、時間数、人数及び回数を計上します。 |
| 旅費交通費 | 委託研究に直接従事する研究担当者の調査などに要する費用で、出発点と旅行先を記し、人数及び回数を計上します。 |
| 庁費 | 委託研究に必要な次の（1）～（9）の項目について計上します。 |
|  | （1）備品費 | **本調査事業では計上不可です。** |
| （2）消耗品費 | 文具、材料、機器具等、１点5万円未満の物品や、5万円以上であっても１年の反復使用に耐えない物品を区分して計上します。 |
| （3）借料及損料 | 機械借上げ等の使用数量及び日時数を計上します。**パイロットプラント等のリースに係る費用は、これに計上します。** |
| （4）印刷製本費 | 報告書、資料等に区分し、数量を計上します。 |
| （5）通信運搬費 | 電報電話料、郵便料、運搬費に区分して計上します。 |
| （6）光熱水料 | 電気料、ガス料及び水道料に区分して計上します。 |
| （7）賃金 | 非常勤職員（アルバイト等）の延員数を計上します。 |
| （8）会議費 | 会場借上げ等の使用回数又は日時数を計上します。 |
| （9）外注費 | 　　研究に必要な調査、試験、実験、計算、機械器具等の修理、その他の雑役務に区分して、それぞれ一式金額で計上します。ただし、備考として用途を簡潔に記述、または、別紙で｢内訳書｣を添付してください。 |
| 間接費 | 委託研究処理に必要な経費のうち直接費以外の諸経費について計上します。諸経費は（直接費―外注費）×諸経費率より算出した額とします。なお、諸経費率は1０％の範囲内とします。 |
| 消費税相当額 | 小計の８％ |

注１）共同研究者の所属機関は、契約書（案）第３条に規定する｢第三者｣には該当しません。

様式－５

研　究　履　歴

※研究に参加する人数分の様式を作成ください。

１．氏名・年齢（生年月日）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ふりがな氏　　　名 | 年齢 | 生年月日（西暦） |
| こくど　たろう国土　太郎 | ○○ | １９○○年○月○○日 |

平成27年4月1日時点の年齢

２．（所属機関がある場合）所属機関名・部署名・職名・連絡先

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 所属機関名（勤務先） | ○○○大学 | 部署名 | ○○学部　○○学科 |
| 職　　名 | ○○ |
| 連絡先(勤務先) | （〒○○○－○○○○）東京都港区○○５－３－２ | TEL：０３-○○○○-○○○○ |
| FAX：０３-○○○○-１２３４ |
| E-mail：t.kokudo@oo.ｊｐ |

３．最終学歴

|  |
| --- |
| ○○○大学大学院　○○研究科博士前期課程○○工学専攻修了（修士）○○大学　○○学部○○工学科卒業（学士）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　など |

４．研究歴（主な職歴と研究内容）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年　月 | 職　歴 | 研究内容 |
| ２００○．４２００○．８ | ○○○大学助手○○○大学准教授 | ○○に関する研究○○○○検証研究 |

様式－５

５．受賞歴、表彰歴

|  |  |
| --- | --- |
| 年　月 | 受賞名・内容 |
| ２００○．８ | ○○学会「○○○賞」 |

６．研究成果等

|  |
| --- |
| ・主な研究論文及び著書 |
| 1) | ○○○、○○論文報告集 |
| ・特許等取得件数：　○○　件 |
| １） | ○○○ |
| ・研究成果 |
| １） | 研究報告「○○に関する研究報告」２００１年５月 |

７．他の競争的資金制度、補助金等からの助成の有無

（財団法人の研究助成事業等、国以外が行っている助成制度も含めます。）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 研究制度名 | 研究開発課題名(と役割) | 研究資金の額（単位：百万円） | 研究期間 |
| ○○制度（△△省）　 | ○○に関する研究開発（研究代表者） | △△ | Ｈ○○～Ｈ○○ |

申請者氏名　国土　太郎